

教育委員会だより

第2回県立山北高等学校「地域との協働による報告会」～伝えよう山北町に。私たちの気づきと思い～

昨年度に引き続き、県立山北高等学校が取り組んでいる「地域協働による探究活動」の成果を、右記のとおり山北町民の皆さんに報告します。

今号では、町に提言する「地域・プロジェクト※」に取り組む山高生の「今」をお伝えします。

※「地域・プロジェクト」とは、各自の生徒が山北町について課題と捉えている探究活動のテーマのこと

【日時】令和4年12月14日(水)14時～15時半(開場13時半)

【会場】山北町立生涯学習センター

【内容】第1部・・・高校生(4グループ)の町への提言

第2部・・・座談会「山北町と山北高校“地域・プロジェクト”」

★登壇者：高校生・高校教員・山高地域協働学習支援員・町職員

*手話による通訳を行います。



山北高校では、地域協働による探究活動(総合的な探究の時間)を「未来探究」と位置づけ、「やまきた未来コンソーシアム(高校と地域協働する関係機関で構成された共同体)」を基盤に、山北町や地域住民の方及び近隣地域の団体と協働して取り組んでいます。

10月21日(金)、3年生が、各自の「地域・プロジェクト」の課題解決に向けて、「やまきた未来コンソーシアム」から参加された7団体の方に、対面や電話でインタビューするフィールドワークを行いました。

フィールドワークでは、生徒の皆さんからの様々な質問等に対して、各団体の方々それぞれの立場や活動・取り組みの視点から具体的な例を挙げて答えてくださるとともに、「地域・プロジェクト」をまとめていく上で必要となる、生徒の皆さんの視野が広がるような示唆や助言をされていました。それは、高校生活の集大成に取り組んでいる山高3年生の「今」を支え、応援して下さる「人」との出会いの場でもありました。進んで挙手して質問したり、助言を聞き漏らさないよう熱心にメモを取ったりしている生徒の皆さんの姿に、自分たちのために貴重な時間を割いて協力して下さった方々への感謝の気持ちと、報告会のサブタイトル「～伝えよう山北町に。私たちの気づきと思い～」が重なって見えました。

フィールドワークを見守った学校長のお話です。

地域とともにある県立山北高校として、「未来探究」の活動や園・小中学校・地域との取り組みを通して、山北町で学ぶ生徒たちが生涯にわたって山北町を自分に近い存在としてほしいと願っています。そうした中、今年度も生涯学習センターで報告会を開催できることを大変ありがたく思います。

山北高校は、令和4年度に創立80周年を迎えました。今後も町や地域の皆さんと連携・協力しながら、80周年のその先に向かって、学校の歩みを着実に続けていきたいと思ひます。

地域との協働による山北高校の探究活動「未来探究」は、生徒の未来、高校の未来、町・地域の未来をつないでいくキーワードのように感じました。

歴史を知ろう！河村城 WALK

好天に恵まれた10月2日(土)に、「やまきたスポーツの秋祭り」が開催されました。会場の一つである河村城址歴史公園では「歴史を知ろう！河村城 WALK」をテーマに、河村城址保存会による「河村城跡解説ガイド」が実施されました。

歴史公園として整備されている河村城跡は、県内唯一の県指定史跡となっている戦国時代の山城です。平安時代末期に現在の山北町周辺を支配していた河村氏が、山頂付近に砦のようなものを築いたのが始まりと言われています。

イベント当日は河村城址保存会の方がガイドとなって、河村氏と河村城の歴史、障子堀の復元的整備を行っている県内唯一の城跡であることや障子堀は県内最大級であることなどを来園者の皆さんに解説していただきました。敵の侵入を防ぐ工夫が施された大きく深い障子堀や、河村城址保存会の方の丁寧で分かりやすいお話から、戦国時代の郷土山北が彷彿された秋の一日となりました。



定住促進の取り組みは？



災害時でのドローン活用は？



山北町の少子高齢者対策は？



山北町の一番のお勧めは？



山北町で利用できそうな土地は？



移動販売車のアイデアは？



若者と高齢者が一緒にできるスポーツは？



河村氏と河村城の歴史を聞く



堀切2土橋から障子堀を見る



集中豪雨での三保・清水地区の様子を聞く子どもたち



避難所に設置される段ボールベッドの説明を聞く子どもたち

小学4年生は、社会科で「自然災害にそなえるまちづくり」を学習します。川村小では9月から10月にかけて、ニュース等で知った各地の自然災害の様子や、社会科副読本等を活用して調べた山北町で起きた自然災害、今後起きると予想される自然災害について学習を深めるとともに、山北町の自然災害への取り組みについて学びました。

その一環として、2つの出前授業が行われました。ひとつが、1972(昭和47)年7月の集中豪雨で被災された地域の方のお話です。当時の具体的な状況や体験されたことを伺いました。もうひとつが、町防災担当者から町の防災対策や各自災害時へどう備え行動したらよいかについてのお話です。2つは別の日に実施されましたが、子どもたちへのメッセージはくしくも同じ「未来のために自分の命は自分で守り、生き抜くこと」。真剣にお話を聞いていた子どもたちの心に、しっかりと刻まれました。

給食をとおして「山北町」を味わう・感じる・知る・学ぶ「山北鉄道の日献立」



10月14日は「鉄道の日」です。鉄道の町として栄えていた山北町を、「『食』をとおして子どもたちに伝えたい」と町教育研究会栄養士部会が考案した「山北鉄道の日献立」。山北産の食材を多く使っており、昨年度から園・小・中で統一メニューとして同時期に提供されています。この山北愛にあふれたレシピを掲載しましたので、ぜひ、ご家庭でも味わっていただけたら幸いです。

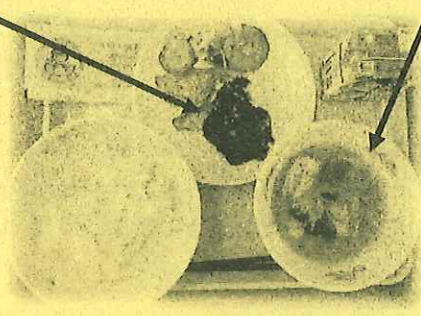


山北駅と谷駅間のトンネルの上に建つ神社の民話が由来のオリジナル料理

「石炭」は鉄道の原動力 **石炭チキン**

- <材料(4人分)>
- 鶏肉・・・60g 程度4枚
 ☞小さめにカットしてもOK
 - おろししょうが・・・適量
 - しょうゆ・・・大さじ1
 - みりん・・・大さじ1
 - 食塩・・・ひとつまみ
 - いりごま(黒)・・・大さじ1～2程度
 - 油・・・適量

- <作り方>
- ①鶏肉に下味をつける。
おろししょうが、しょうゆ、みりん、塩を混ぜたところに鶏肉を入れ、冷蔵庫に30分以上おく。☞ポリ袋等に入れて揉み込むと、味が均等につきやすくなる。
 - ②鶏肉にごまをまぶす。☞プレスしてしっかりとつけるとはがれにくい。
 - ③油をひいたフライパンで両面焼く。
☞ごまがはがれやすいため、ひっくり返す回数は少なく、丁寧に。
- ★ごまのつけ方や量は好みで♪
◎両面につけて、より石炭らしく!
◎白ごまと黒ごまを混ぜておしゃれに!



線守稲荷汁

- <材料(4人分)>
- ★お好みや旬に合わせて材料を変更すると、よりおいしくなります!
 - だいこん・・・3cm程度(100g)
 - にんじん・・・中1/2本(40g)
 - たまねぎ・・・中1/2玉(100g)
 - さといも・・・1～2個(50g)
 - 長ねぎ・・・1/2本
 - 油揚げ・・・1～2枚
 - だし汁・・・600ml
 - みそ・・・40g程度

- <作り方>
- ①だしをとる。☞顆粒だしを使ってもOK!
 - ②材料を切る。
だいこん、にんじん・・・いちよう切り
たまねぎ・・・スライス
さといも・・・乱切り(一口大)
長ねぎ・・・小口切り
油揚げ・・・油抜きをし、三角形に切る。
 - ③だし汁で、順に材料を煮る。
 - ④柔らかくなったら火を止め、みそを溶き入れる。☞再度沸騰したら完成!

かぼちゃ、きのこ類などの食材もオススメ!



令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

令和4年4月19日に小6・中3を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」結果からの町の状況や改善策を、町ホームページに11月下旬に掲載します。

- 令和4年 (第8回～第10回・協議会)
- 第8回(8月26日)
 - ・教育長報告
 - 協議会(8月26日)
 - ・第71回足柄上郡総合体育大会の結果について
 - ・第7回山北町長杯パークゴルフ大会について
 - ・第1回やまきたスポーツの秋祭りについて
 - 第9回(9月21日)
 - ・教育長報告
 - ・山北町教育委員会教育長の選任について
 - 協議会(9月21日)
 - ・旧山北体育館代替施設建設の今後の予定について

- ・令和4年度文化財講座I「山北町文化財めぐりウォーキング」について
- 第10回(10月26日)
 - ・教育長報告
- 協議会(10月26日)
 - ・総合教育会議について
 - ・学校訪問について
 - ・第2回県立山北高等学校「地域との協働による報告会」について
 - ・令和4年度やまきた町民文化祭について
 - ・第44回丹沢湖マラソン大会参加申込状況等について
 - ・令和4年度山北町人権講演会について
 - ・ライブ・イン・山北2022について



YAMAKITA